

平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川宗平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,956	48.4	480	43.0	509	65.5	359	177.0
29年3月期第2四半期	1,991	35.7	335	288.1	307	340.4	129	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 382百万円 (257.4%) 29年3月期第2四半期 107百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	71.60	71.49
29年3月期第2四半期	25.91	25.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,685	2,974	62.6
29年3月期	3,883	2,577	65.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,932百万円 29年3月期 2,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,172	22.4	409	11.7	444	25.3	268	97.6	53.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	5,098,700 株	29年3月期	5,076,100 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	58,001 株	29年3月期	58,000 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	5,024,629 株	29年3月期2Q	5,013,346 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費におきましては依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが所属するゲーム業界においては、家庭用ゲーム市場では、任天堂株式会社が平成29年3月に発売いたしましたNintendo Switchの販売が好調に推移し、品薄状態が継続している等、新しいハードウェアの需要が高まっていることがうかがえます。また、スマートフォンゲーム市場では、ユーザーの位置情報を利用したコンテンツが開発・配信されるなど、スマートフォンやタブレット端末を利用した遊び方の多様化が見られます。

当社グループは、このような経営環境の中、あらゆるエンターテインメント分野で活躍できる強いコンテンツメーカーとして、世界中の方々に楽しさを提供できるよう『商品戦略』『技術力向上』『人材育成』『グループ統制』を中期戦略として取り組んで参ります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの状況は以下のとおりです。

平成29年3月に国内版、平成29年5月に海外版を発売した『魔界戦記ディスガイア5』（Nintendo Switch専用ゲームソフト）が国内、海外合わせて販売本数10万本を突破するなど、好調に推移いたしております。また、平成29年7月にスマートフォン向けアプリ『魔界ウォーズ』の告知を行うなど、コンシューマーゲームの開発のみならず、スマートフォン向けアプリの配信に向けた取り組みを進めており、当社が生み出したコンテンツの更なる認知度向上、当社グループの事業拡大及び企業価値の一層の向上を図っております。

上記のほか、PlayStation Network及びSteamを通じたダウンロードコンテンツの配信、他社が配信するオンラインゲームとのコラボレーション、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を引き続き行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,956,394千円（前年同期比48.4%増）、営業利益480,190千円（前年同期比43.0%増）、経常利益509,344千円（前年同期比65.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益359,787千円（前年同期比177.0%増）となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,685,848千円となり、前連結会計年度末に比べ802,468千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末に比べ476,091千円の増加)、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末に比べ420,796千円の増加)、前払費用の減少(前連結会計年度末に比べ150,555千円の減少)によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ192,612千円の増加)によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,710,995千円となり、前連結会計年度末に比べ404,729千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(前連結会計年度末に比べ176,643千円の増加)、短期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ110,000千円の減少)、売上引当金の増加(前連結会計年度末に比べ163,195千円の増加)によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ116,867千円の増加)によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,974,853千円となり、前連結会計年度末に比べ397,739千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加(前連結会計年度末に比べ343,571千円の増加)、その他有価証券評価差額金の増加(前連結会計年度末に比べ17,224千円の増加)、為替換算調整勘定の増加(前連結会計年度末に比べ5,955千円の増加)によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,657,408千円となり、前連結会計年度末に比べ476,091千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は620,046千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益528,222千円、売上引当金の増加額160,732千円、売上債権の増加額415,302千円、仕入債務の増加額173,408千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は98,939千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出568,106千円、投資有価証券の売却及び償還による収入478,261千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は59,290千円となりました。これは主に、短期借入金の純減額110,000千円、長期借入れによる収入524,059千円、長期借入金の返済による支出474,113千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移いたしておりますが、第3四半期連結会計期間以降の商品の販売動向等、いまだ不確定な要素を含んでおります。

従いまして、平成29年3月期決算短信(平成29年5月12日付公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,181,316	1,657,408
受取手形及び売掛金	182,174	602,970
商品及び製品	102,359	70,720
仕掛品	231,003	256,043
前払費用	327,179	176,624
その他	211,154	93,259
貸倒引当金	△5,800	△5,808
流動資産合計	2,229,388	2,851,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	267,738	259,940
機械装置及び運搬具(純額)	1,236	2,684
土地	214,495	214,495
その他(純額)	30,993	28,258
有形固定資産合計	514,463	505,379
無形固定資産	25,684	23,540
投資その他の資産		
投資有価証券	1,089,858	1,282,471
その他	23,984	23,238
投資その他の資産合計	1,113,842	1,305,710
固定資産合計	1,653,991	1,834,630
資産合計	3,883,379	4,685,848

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,785	268,429
短期借入金	210,000	100,000
未払金	130,718	140,765
未払法人税等	5,127	42,188
賞与引当金	92,780	57,054
売上値引引当金	119,091	282,287
その他	132,069	173,318
流動負債合計	781,573	1,064,044
固定負債		
長期借入金	458,051	574,918
退職給付に係る負債	30,007	32,882
その他	36,633	39,149
固定負債合計	524,692	646,950
負債合計	1,306,265	1,710,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	525,840	538,755
資本剰余金	515,840	528,755
利益剰余金	1,403,341	1,746,912
自己株式	△16,870	△16,872
株主資本合計	2,428,150	2,797,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,522	28,746
為替換算調整勘定	100,708	106,663
その他の包括利益累計額合計	112,230	135,410
新株予約権	36,733	41,890
純資産合計	2,577,114	2,974,853
負債純資産合計	3,883,379	4,685,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,991,956	2,956,394
売上原価	1,008,186	1,639,244
売上総利益	983,769	1,317,149
販売費及び一般管理費	647,929	836,959
営業利益	335,840	480,190
営業外収益		
受取利息	20,607	22,786
受取配当金	87	79
為替差益	—	7,095
補助金収入	4,674	—
その他	3,467	1,472
営業外収益合計	28,836	31,433
営業外費用		
支払利息	1,717	1,853
為替差損	53,725	—
投資事業組合運用損	454	102
その他	931	323
営業外費用合計	56,828	2,279
経常利益	307,847	509,344
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21,310
投資有価証券償還益	10,643	—
特別利益合計	10,643	21,310
特別損失		
投資有価証券評価損	74,427	—
固定資産除却損	—	2,432
特別損失合計	74,427	2,432
税金等調整前四半期純利益	244,063	528,222
法人税等	114,188	168,434
四半期純利益	129,875	359,787
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,875	359,787

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	129,875	359,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,507	17,224
為替換算調整勘定	△109,239	5,955
その他の包括利益合計	△22,731	23,180
四半期包括利益	107,143	382,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,143	382,967
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	244,063	528,222
減価償却費	19,498	18,466
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73,038	△35,544
売上値引引当金の増減額(△は減少)	△19,800	160,732
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,614	2,875
受取利息及び受取配当金	△20,694	△22,865
支払利息	1,717	1,853
投資事業組合運用損益(△は益)	454	102
為替差損益(△は益)	110,116	476
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21,310
投資有価証券評価損益(△は益)	74,427	—
投資有価証券償還損益(△は益)	△10,643	—
固定資産除却損	—	2,432
売上債権の増減額(△は増加)	△86,784	△415,302
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,155	7,634
仕入債務の増減額(△は減少)	23,588	173,408
その他	△62,037	190,019
小計	220,638	591,200
利息及び配当金の受取額	13,703	22,884
利息の支払額	△1,723	△1,853
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△99,053	7,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,564	620,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の回収による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△6,295	△7,941
無形固定資産の取得による支出	△2,983	△1,650
投資有価証券の取得による支出	△430,201	△568,106
投資有価証券の売却及び償還による収入	59,412	478,261
その他	—	497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△379,067	△98,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110,000	△110,000
長期借入れによる収入	421,714	524,059
長期借入金の返済による支出	—	△474,113
株式の発行による収入	3,325	15,820
自己株式の取得による支出	—	△1
配当金の支払額	△14,997	△15,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	300,042	△59,290
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103,565	14,275
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49,026	476,091
現金及び現金同等物の期首残高	1,098,630	1,181,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,049,604	1,657,408

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

「II 当第2四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「パッケージ事業」「オンライン事業」「ライセンス事業」「その他事業」の4事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、従来、配信方法やサービス形態別に報告セグメントを分類しておりましたが、近年の市場環境の変化に伴い、商品・サービスの多様化が進み、配信方法別・サービス形態別に管理する意義は乏しくなっております。

また、当社グループにおきましては、平成29年に成長戦略を改めており、あらゆるエンターテインメント分野で活躍できる強いコンテンツメーカーとして成長を遂げるため、中期目標としてビジョン「Entertainment for All」の達成を目指しております。

このような状況を踏まえ、当社グループの販売活動、開発体制、内部管理体制、社内報告体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、当社グループの事業については一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。